

WAMは福祉と医療の民間活動を応援します

令和5年12月27日
独立行政法人福祉医療機構
経営サポートセンター長 川森 大輔
経営サポートセンター コンサルティンググループ
グループリーダー 菅野 雅之
担当 川上 (電話) 03-3438-0236
(FAX) 03-3438-0371

2022年度(令和4年度)決算

老人デイサービス(通所介護・認知症対応型通所介護)の経営分析参考指標の概要について

独立行政法人福祉医療機構では、福祉医療貸付事業の債権管理の一環として、毎年度、融資先からご提出いただく財務諸表等を基に、社会福祉法人や医療法人、福祉・医療施設等の経営状況について経営分析参考指標として集計・分析しています。

このたびは、2022年度(令和4年度)決算に基づく老人デイサービス(通所介護・認知症対応型通所介護)の経営分析参考指標の概要について、公表いたします。

〈経営分析参考指標〉 <https://www.wam.go.jp/hp/guide-keiei-keieiga-tabid-1976/>

1. 調査の概要

| | |
|-------|---------------------------------|
| ■調査時点 | 毎年1回(決算データ) |
| ■集計施設 | 通所介護(5,744施設)、認知症対応型通所介護(549施設) |
| ■調査目的 | 機構融資先の債権管理の一環 |

※経営分析参考指標(2022年度決算分)(有料)の頒布については、現在予約申込受付中です。

2. 2022年度決算の概要

<通所介護>

- 通所介護全体の利用率は68.0%で、前年度より2.0ポイント低下した。
- 利用者1人1日当たりサービス活動収益は9,475円で、前年度より254円上昇した。
- サービス活動収益対サービス活動増減差額比率は0.0%で、前年度より1.5ポイント低下し、赤字施設(経常増減差額が0未満)の割合は49.6%で、前年度より3.1ポイント上昇した。
- 事業形態別のサービス活動収益対サービス活動増減差額比率は、地域密着型1.4%(前年度比0.9ポイント低下)、通常規模型△1.0%(前年度比1.6ポイント低下)、大規模型(I)4.8%(前年度比0.1ポイント上昇)、大規模型(II)2.5%(前年度比2.3ポイント低下)であった。

<認知症対応型通所介護>

- 利用率は62.3%で、前年度より1.2ポイント低下した。
- 利用者1人1日当たりサービス活動収益は13,390円で、前年度より328円上昇した。
- サービス活動収益対人件費率は71.0%で、前年度より0.4ポイント上昇した。
- サービス活動収益対サービス活動増減差額比率は4.9%で、前年度より0.5ポイント低下し、赤字施設の割合は40.6%で、前年度より3.8ポイント上昇した。

以上